

第2回 戸倉保育園改築事業基本計画検討委員会会議録

日 時 令和4年12月21日(木) 午後1時00分から午後2時15分

場 所 千曲市ふれあい福祉センター 4階 4会議室

出席委員 12名(15名のうち)

欠席委員 3名

事務局 次世代支援部長、保育課長、保育施設係長、保育施設係

(1) 開 会

事務局 課長

お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。当検討委員会事務局の、保育課長の斎藤と申します。

本日、水澤委員さん、滝沢委員さん、柳澤委員さんから欠席される旨のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

また、本日の検討委員会につきましては、『千曲市審議会等の設置等に関する基本指針第6条』の規定によりまして原則公開することとなっております。本日、傍聴を希望される方がおりますが、公開とさせていただきますのでよろしいでしょうか。

—全委員の承認を確認—

(2) 委員長あいさつ

事務局 課長

それでは、当検討委員会の濱田副委員長より開会のあいさつをお願いします。

濱田副委員長

ただ今から、第2回戸倉保育園基本計画検討委員会を開会いたします。

事務局 課長

続きまして、2. 委員長あいさつ。小林委員長よりごあいさつをお願いします。

小林委員長

師走の忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。お手元の資料にあるように、今回から具体的な内容について、皆様それぞれの立場や経験から遠慮なくご意見を出していき、素案作りに努めていただければと思います。よろしく願いいたします。

事務局 課長

ありがとうございました。

3. 会議事項に入る前に、戸倉地区の主任児童委員の改選により、新たに小林千はる委員さんが検討委員として加わりましたのでご紹介いたします。では、小林委員さんから一言お願いいたします。

小林千はる委員

主任児童委員 戸倉地区担当の小林千はると申します。一年目になりますが、よろしく願いいたします。

事務局 課長

ありがとうございました。続きまして、事務局より本日の会議資料の確認について説明します。

事務局 寺澤

事務局の保育施設係の寺澤です。

本日の資料につきましては、事前に皆様に送付させていただきました「資料1」及び「資料2」、A3版の意見シートを使用します。

もし、過不足等ありましたら事務局にお声がけをお願いします。

(3) 会議事項

事務局 課長

ここからは、本委員会要綱第6条第2項の規定によりまして、小林委員長には議長として、会議の進行をよろしくお願いします。

小林委員長

それでは会議事項に入りますが、事項ごとに資料にしたがい、事務局より説明があります。委員の皆様は、質疑・ご意見のある場合には、事務局の説明が終わりました後に簡潔にお願いいたします。

会議事項(1) 戸倉保育園の改築について、事務局より説明願います。

事務局 寺澤

事務局の寺澤です。

私の方から、「(1) 戸倉保育園の改築について」を説明させていただきます。事前にお送りしました資料1、資料2について説明をさせていただき、その後にA3の意見シートをもとに皆様からご意見をいただければと考えています。

資料説明

<資料1>

では、まず資料1から説明をさせていただきます。

資料1は戸倉保育園の在園児保護者106世帯を対象に11月中旬から11月末にかけて「戸倉保育園の改築について」意向調査を行ったものです。回答数は88件で回答率は83%でした。

問1に戸倉保育園を利用しているご家庭の在住地域をA・B・C・D・その他のエリアに分けて在住地域を調査しました。Aエリアは上徳間から上町あたりの国道西側、Bエリアは新戸倉温泉から磯部のあたりの国道西側、Cエリアは国道東側の柏王から戸倉駅の裏側あたりまで、Dエリアは上町から磯部の国道東側、その他は戸倉地区以外の上山田等の地域から戸倉保育園へ通っている家庭となります。結果としてはAエリアが一番多かったのですが、BCDともに満遍なく皆さん通っていただいている現状であります。

問2では建て替え時に重要と考える項目から2つ選んでいただくようにして調査しました。最も回答が多かったのは安全性、次に駐車場と道路の項目、次いで地域・立地・環境、園庭・施設、工事期間・時期、建設費用といった項目を重視していることがわかりました。

問3では、通園時の登園方法についてアンケート調査しました。結果としては82件、約91%の方が自家用車で通園されていると回答されました。こういったことから駐車場の確保が重視されているのではないかと思います。

問4では建設する最適地について1人1択で回答していただきました。結果としては現地建替えが55件と最も多く、次いでAエリア13件、Bエリア12件、Cエリア5件、Dエリア2件となりました。

続いて、自由表記欄を設け、皆さんから自由なご意見をいただくようにしました。主だったものをピックアップさせていただきます。

千曲川に近すぎて心配だが、ハザードマップでは赤くないところはないので難しいといった意見や、近年台風による被害が多いため、千曲川付近や山のふもととは避けてほしいという安全性を重視したご意見をいただいています。

あと、子どもや先生たちの安全確保、避難場所・経路がしっかりある場所。また、小中学校との位置や駐車場、近隣のことを考えると今の場所が良いといったご意見もいただいております。

また、災害の対策等をしていただいた上であれば、今の場所でいいのではないかとのご意見もいただきました。

ほか、送迎や保育士の駐車場の確保や、在園児の安全性や卒園時に仮園舎とならないように考えてほしいという意見や、子どもたちが沢山の体験ができるような園舎・園庭にしてほしいという保育の方針の面でもご意見をいただきました。

以上が資料1の、アンケート調査の結果です。

このアンケート結果については戸倉保育園の保護者にも情報の共有を今後していきたいと考えています。

<資料2>

続いて資料2をご覧ください。

こちらは、戸倉保育園改築の検討資料ということでお願いします。まず1枚目は現在の戸倉保育園の敷地概要です。敷地面積は5334㎡、幹線道路の千曲線から西に入った突き当りに位置しています。都市計画の用途地域では第2種住居地域となっており、住宅地と千曲川の土手、ふれあい福祉センターに囲まれた立地となっています。

送迎用駐車場については、ふれあい福祉センター駐車場を利用しています。また、職員駐車場は、ふれあい福祉センター駐車場の一部と園舎の東側に縦列で駐車しています。

<資料2-1>

千曲市防災ガイドブックの洪水マップの抜粋です。洪水マップはH27年の水防法の改正により、想定し得る最大規模の降雨(1,000年に1回程度の降雨)により、千曲川が氾濫した場合に想定される区域と浸水の深さを示したものです。

皆様もお分かりのように現在の戸倉保育園の場所も含めて戸倉地域の大半の平地は5m~20mの浸水予想区域となっています。

では戸倉保育園で実際に浸水の危険性が発生した場合にどのように対応しているかですが、「洪水時の避難確保計画」というものを各保育園で作成しています。実際はレベル3になった時点で保護者の皆さんにお迎えの連絡が行き、迎えに来ていただきます。その後、一定時間経過後、緊急避難先のふれあい福祉センターの4階に保育士が誘導して避難を行うこととなっています。

<資料2-2>

続いて資料2-2をご覧ください。

こちらは、千曲市が指定する緊急避難場所の抜粋です。戸倉地域では、戸倉体育館や創造館など、戸倉保育園を含め13箇所が災害の一時的な緊急避難場所となっています。

<資料2-3>

戸倉地域の航空写真です。戸倉地域の教育施設や文化施設、私立の幼稚園の位置関係を示しています。現在の戸倉保育園は、小学校や中学校、児童館が近く、他の私立の保育園とも離れており、競合しない位置となっています。

<資料2-4>

戸倉地域の遺跡分布図です。こちらに示された遺跡の場所を開発する場合に、まず千曲市歴史文化財センターと協議して場合によっては遺跡調査を行う必要があります。発掘調査を行う場合、1年ほど工事が遅れることもありますが、戸倉地域については遺跡等の重大な文化財の分布が少ないので該当する恐れは少ないかと思われます。

<資料2-5>

戸倉保育園の改築事業の全体スケジュールです。前回もお示ししたのですが、全体計画の中で、令和4-5年の中で基本計画の策定をし、令和6年に基本・実施設計により建物の設計を進めます。令和7年の秋口から令和8年度末にかけて園舎の建設工事を行います。そして令和9年4月に開園するという流れで計画しています。

現地建替えと移転建替えの場合のスケジュールの比較ですが、現地建替えの場合は、仮設園舎完成後に引越しをし、現在の戸倉保育園の解体、新園舎の建設工事が終了後に引越しをし、開園となります。

移転建て替えの場合ですが、来年度の後半あたりから場所によっては用地交渉を行い、令和6年度のあたりで用地取得・農地転用等をし、新園舎の建設工事、完成後に引越し、開園となります。そして現在の保育園の解体工事を開園後に行う、といった流れになります。以上が全体の流れとなります。

<資料2-6>

現地建替えと、移転建替えの費用面での比較表になります。

・用地購入費

比較表の中のグレーで塗った部分について、現地建替えと移転建替えで費用面に差が出るのではないかと思います。まず用地購入費の部分ですが、移転建替えの場合は用地の購入が必要となる可能性があり㎡、土地単価の参考として長野県基準地をもとに算出し、面積を今、新園舎の設計をしている屋代保育園4600㎡を参考にしますと、約1億3千万円として算出しています。

・委託費

測量や設計費は現地・移転建替えともに同じくらいかかる見通しです。

・工事費

現在資材等が高騰しており、なかなか試算しにくい現状ではありますが、屋代保育園の設計をベースに試算しました。移転建替えの場合は造成費用が若干多めにかかるの見込んで差が出ています。

・仮設園舎

現地建替えの場合は、仮設園舎が必要となります。試算方法は以前台風で被災し、復旧工事をするあいだ仮設園舎で一時的にすごした杭瀬下保育園を参考にしています。

こういった内容を比較し、条件によっても変わってきますが、総額で約1～2億円差が出るのではないかと試算しています。

財源については施設整備事業債という市の借金（起債）で確保する形で進めることとなるのではないかと思います。

雑駁ではありますが、資料の説明は以上となります。

小林委員長

事務局より説明が終わりました。まず始めに今の説明に対してご質問がありましたらお願いします。

-質問がないことを確認-

では、進めていく中でご質問があればお願いいたします。

協 議

それではここで委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。事前に皆様に送付したA3の項目が1～6までありますので、分割してご意見をいただきたいと思います。

まず、1の安全性について、事務局から補足説明をお願いします。

※委員から出た意見をパソコンに打ち出し、随時スクリーンにリアルタイムで投影しながら実施

1. 安全性について

委員

意見書の安全性についてですが、災害（洪水）が発生すると、川より低い間違はなく浸水すると思われれます。このことについて、建設時に嵩上げするなどの対策は考えているのでしょうか。被害を最小限に抑えるための嵩上げです。

事務局 寺澤係長

意見シートの備考欄に含めさせていただいていますが、災害に対する安全性が一番心配されている地域ですので、ある程度盛り土や一部を2階建てにして改善するなどの対策を考えています。また、実際は避難確保計画があり、避難警報レベル3が出た段階で保護者へ迎えに来てもらうようになっています。そして残った人、職員等はふれあい福祉センターの4階へ避難していきますので、人的な被害は避けられているのではないかと思います。

建築については盛り土や2階建て等の対策をし、垂直避難ができるように考えています。

委員

あんずホールは実際に浸水したので、最低限そうならないように計画していただきたいと思います。

事務局 寺澤係長

今の高さよりは上げていきますし、実際に屋代保育園では50cmほど盛り土して高くしています。そういった部分でも対策をし、建物への被害を少なくしていきます。

小林委員長

貴重な意見ありがとうございます。ほかのかたご意見ありますでしょうか。

委員

保護者の中では特に耳に入る意見はないのですが、私個人としては現状の場所がいいと思います。避難場所が近くにあるという点で、もし移転した場合に、今のような4階建ての避難場所のように高い場所があるのかという点で安全性の確保が心配です。ほかにあまりないので、保育士の皆さんを始め、職員の皆さんが災害時のガイドラインのルールを守っていただければ、安全にできるのではないかと思います。

小林委員長

確かに、万が一の時は隣の建物の4階へ垂直避難するという話が出ましたので、これもひとつの手段ではないかと思います。

ほかに意見ございますでしょうか。

事務局 寺澤係長

補足説明をさせていただきます。本日欠席の委員さんからご意見いただいております。

防災ガイドブックでは戸倉地域はほとんどが被災する地域となっていることから、その中でどう考えるかが大事だというご意見をいただきました。

また、現状の園舎は土手に道路があるので、そこを通る車が落ちてきたら危険だというアンケート結果になりました。例えばガードレール等を河川管理の担当部署である国交省へ依頼するなどの対応をすれば可能ではないか、とのご意見もいただきました。

ほかに意見ございますでしょうか。

もしこのあと順番に進めていきますが、もし遡って発言していただいても構いません。

では安全性については、このあたりにして次に進めさせていただきます。

2. 地域・立地・保育環境について

事務局 寺澤係長

先ほどと同じく、欠席された委員さんから事前にいただいている意見として、現在の戸倉保育園は小中学校が近く、また国道なども近く、アクセス面や連携の面で良い立地であることや、地域の理解があるのではないかと、園舎・園庭が南向きにあり、現地建替えの際は同様に日照を確保できるのではないかと、また移転建替えの場合はこういった地域の理解の醸成が必要ではないかとも意見をいただきました。そして、私立の施設とのバランスも大事になるのではないかと、アンケートではAエリアが多いという点から、国道の東側に移転するのは難しいのではないかと意見をいただきました。

小林委員長

ありがとうございました。

皆様からも地域・立地・保育環境についてご意見賜りたいと思います。

小林委員長

海野園長、現時点で近所の方からの騒音や、朝の送迎車のことなどで、具体的な何か相談や困りごとなどの話はきていますか。

海野園長

今、保育園の行事で音楽を流したり、運動会など放送で賑やかに過ごさせていただいていますが、人によってはうるさいという方もいるのかなあとと思いながら、放送の中で近所の方に「今から体操でします」とかアナウンスさせていただいています。特に苦情といったこともなく、散歩で近くを通られる方には「かわいいねえ」と声をかけていただいていたりますので、周辺の方には理解していただいているのではないかな、と思います。

駐車場については、今戸倉保育園独自の駐車場ではないので、保護者の皆さんにはご協力いただいて、子どもたちに危ないことが起きないように気を付けてお帰りいただくように過ごしています。

小林委員長

ありがとうございます。いろいろと細かい配慮をしていただき、ご近所とのトラブルがないようにしていただきありがとうございます。

皆さん、ほかにいかがでしょうか。

委員

小中学校に近接しているのがメリットになるという点でお話させていただきます。今コロナ禍で交流が難しいのですが、幼保・小・中の連携はとても大事な視点であります。保育園のお子さんたちが小学校に憧れを持ったり、逆に小学生が保育園の子ども達と遊んだりする中で、自己理解といいますか、自分を見つめ直す機会というのが生まれ、とても大事だと思います。また、授業時間で安全に歩いてこういった保育園や児童館へ行けるといいうのもとても大事だと思います。

さらに近年はコロナ禍で保育園と小学校双方に兄弟関係がある場合でも急なお迎えが必要になったりします。その際、親御さんの送迎の負担を考える保育園が近いといろんな面でメリットがあるのではないかと思います。

小林委員長

貴重なご意見ありがとうございます。

磯部代表の委員さん、保育園からある意味一番遠いエリアではありますが、地域の皆さんから遠すぎて困るとか、改築の際には是非磯部の方へ寄せてほしいとか、そういった話は聞こえてきていますか。

委員

そういった話は特に耳に入ってきていません。現状の場所であれば、保育園が45年もあるということから地域住民の方々からある程度理解されていると考えられますので、そういった点で現地建替えは有利ではないかと思います。

小林委員長

ありがとうございます。

柏王の委員さんは何か地区の方から距離的なことで何かありますか。

委員

うちの子どもは小さいときも戸倉保育園に通いました。ただその時は3～4人まとめて通っていた地区だったのでタクシーで送迎をしていましたけども。移転場所は用地がなかなか見つけにくいので、今の場所がいいのではないかと思います。

もうひとつ意見として、保育環境のことですが、ニュースなどで近隣住民の理解といったことが取り上げられていますが、当然のことだと思います。園児を保育するためのものであり、子どもを育てる施設は必要なものですから、理解が必要なのは当然のことです。

小林委員長

まとめるわけではないのですが、2.の立地については現状の建て替えでというご意見が多い気はします。この件についてほかに意見はいいでしょうか。次に3.について事務局から続けて補足説明をお願いします。

3. 送迎について

事務局 寺澤係長

送迎について、欠席された委員から現状の保育園は送迎の際にふれいあい福祉センターの駐車場をつかっており、現地建替えの際は引き続き送迎につかっていければいいのではないかとご意見をいただいています。

意見シートの方に戻りますが、現状の保育園で駐車場が足りないといったご意見あるかもしれませんが、周辺土地を借地したり、交渉の中で取得したりすることで解消は可能ではないかと考えています。あるいは移転建替えの場合は予め駐車場の確保が可能ではないかと思えます。ただ、場所によっては道路幅員が狭いとか渋滞が起きるなどの地域も可能性としてあります。あと、アンケートの中でも9割以上が車の送迎ですので、駐車場の確保は重要ではないかと考えます。以上です。

小林委員長

ありがとうございます。では3.の送迎についてお伺いしたいと思います。

保護者会の委員の方、その点について、ご自身で、あるいはお友達の方で困ったことや改善してほしいことなどあるでしょうか。

委員

私は今子どもの送迎を車でしているのですが、運転がうまい方ではないので広い駐車場があるとありがたいと思います。ですが、今の駐車場は車を降りてから保育園に行くまでの間に道路があり、子どもを連れて歩いているときに福祉センターの車が奥から出てきたりしますので「危ない」と思う場面があります。駐車場はここで借りできればいいのですが、そういった面について、歩き方、送迎のマナーというルールをしっかりと決めていければいいかな、と思いました。

小林委員長

ありがとうございます。あの、車と人の動線について、もし何か現状で今後何か改善する余地というの

はあるでしょうか。

事務局 寺澤係長

そうですね、新庁舎に市役所が移転し、その後、昨年ふれあい福祉センターになり、社協の皆さんが上山田の建物からこちらに移られてきました。まだ社協の方と駐車場の動線や住み分けがしっかりと出来ていないので、現状の中で協議を進めていかななくては、と考えております。

小林委員長

はい、ありがとうございます。なかなか難しい部分もありますが、改築に向けて、いい機会ですから考えていきたいところです。

それでは送迎についてはよろしいでしょうか。続きまして 4. 保育面積、5. 工事期間・費用について事務局から補足をお願いします。

4. 保育面積について 5. 工事期間・費用等について

事務局 寺澤係長

欠席された委員さんからは、改築の際、現状の園舎の面積があればいいのではないかという意見をいただきました。

補足ですが、意見シートにあるように、戸倉保育園は市内の保育園で一番広い土地を有しています。移転建替えについては戸倉地区の中で 4000 m²以上のまとまった空き地というのは限られております。現在設計中の屋代保育園は駐車場込みで約 4600 m²ですので、そのぐらいは最低限必要になると考えております。

5. の工事期間・費用についてですが、滝澤委員さんからは、仮設園舎を建てる場合は白鳥園の横に建てればいいのか、と意見をいただいています。仮設園舎を建てる場合は、仮設への引越しと、仮設から新園舎への引越しの計 2 回の引越しが必要になり、負担になるのではないかと思います。逆に移転建替えでは 1 回の引越しで済む代わりに、用地の確保や埋蔵文化財発掘調査等で場合によっては事業期間の延長が必要になる可能性もあります。

小林委員長

それでは 4. 保育面積、5. 工事期間・費用についてご意見ありましたらよろしく願いいたします。

委員

先ほどの 2. にも絡むのですが、白鳥園の跡地への建築はどうかとアンケートの回答の中にありました。確かに用地購入費用もかからないし、仮設園舎の費用や引越しの手間も省け、金銭的に見れば、これもひとつの手段ではないかと思います。

ただ、私どもの方では現在、総合運動公園計画というのがあり、会議をしています。今の段階では、今の芝生からちょっと向こうの方までは公園にするのが決まっています。来年 4 月から工事に入り、のちのち南側に広げていくような流れになっています。しかし、その会議の中で「保育園」という言葉は全く出てこなかったのが、都市計画課と保育課との間で連携や今回のような話があったのかどうかという点が気になります。

また、先の話になりますが、この委員の現段階で移転か建て替えかという議論の中で、現状の場所がいいのではないかという流れになっていますが、この基本計画は 2 年かけてやっと策定されるのですが、

基本的なことが決まればすぐ業者を決めて設計に入りさえすれば1年くらいは前倒しで早く進められるのではないのでしょうか。

事務局 寺澤係長

ありがとうございます。総合運動公園計画ですが、情報の共有はしています。ただ、まだ私たちの方も必ずしも仮園舎用で白鳥園の土地を使うかどうかまで進んでいませんので、具体的な連携はまだしていません。

公園の工事も来年・再来年あたりで着工するという話も聞いています。保育園の方は今の予定ですと、工事自体は3年後くらいから入る予定ですので、その時には状況も変わっているかと思います。なので、今現在の中では情報の共有はしていますということしかお答えできないのですが、ご了承下さい。

もう一点の基本計画の策定に要する期間についてですが、今、現地か移転先での建て替えかというのを議論しており、これを今年度決めていきたいと考えていますが、来年は、実際の保育をするにあたり、必要となる各部屋の規模・面積の決定や、こういった保育をしていくか、などなど、こういった項目について、ある程度計画策定の中で決めていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

小林委員長

ほかにいかがでしょうか。何かご意見お願いいたします。

委員

工事期間自体は短くした方がいいと思うのですが、用地の取得や現地か移転かはじっくり考えた方がいいと思います。ただ、早志さんがおっしゃったとおり、決めるべきことが決まった際には工事等が早く終わらせられるような形で進めていただければいいのではないかと思います。

6. その他

小林委員長

6. その他ありましたらお願いいたします。ほか、言い忘れたことなどでも構いませんので何かお願いします。

委員

仮園舎となった場合、内覧会を開いて保護者への登園や利用について、一回見させていただければ安心できると思いました。

あと、今いる106名の人数について、仮園舎を小さく・大きく作った場合に保育できる人数に変更があるのかという点と、園庭が今は広いのですが、園庭で仮園舎を建てた場合に工事車輛の出入り等の安全面をどう考えているのか、保護者として園児たちを預ける側として疑問に思いました。

事務局 寺澤係長

ありがとうございます。仮園舎を建てる場合、杭瀬下保育園の例ですと、送迎の際に内部を見ていただくような形で自由な見学の機会を設けたのですが、開園より前もって内覧会を開くということでしたら、それも可能ですので考えていきたいと思えます。

大きさによって定員が変わるのか、ということですが、条例や県への届出を提出して決めていますので、基本的には今の定員をベースに設計します。最低限今の人数は確保できるように進めます。

園庭に仮園舎を作る場合ですが、現地建替えの場合、工事業者さんの方でも安全性を確保するのが難しいので園庭に建てるというのは考えづらいかと思います。なので、仮園舎の場合は、恐らく現状の敷地外で探すことになるかと考えております。

小林委員長

ほかにその他の部分でどうでしょうか。

委員

このふれあい福祉センターの3～4階を使用するというのはどうでしょうか。

事務局 寺澤係長

調整が必要にはなると思うのですが、保育をする場合の基準に合致する必要があることと、社協さんとの協議ができれば、そういった方法もとれるかと思うのですが、今現在でできるかどうかといと難しい質問だと思います。

小林委員長

ほかにその他の部分でどうでしょうか。

概ね議論を尽くされたかと思います。事務局の方でまとめがありましたらお願いします。

事務局 寺澤係長 補足説明

—スクリーンに投影したこれまで出た意見を読み上げ、振り返る—

小林委員長

ありがとうございました。今、事務局の方からまとめについて、お話がありました。皆さんの方でご質問やご意見等がありましたらお願いします。

委員

今まで通りに行事をやっていただくようにお願いします。改築に当たって、「これはできない」「規模を縮小する」といったことがないように、できる限り現状のまま、子どもたちの行事が行われるようにやっていただきたいと思います。

事務局 寺澤係長

現地建替えの場合は仮園舎が必要になり、どこかの場所で保育をするようになります。場所によっては制約があるところもあると思います。ただ、行事についてはできる範囲の中で、子ども達が窮屈な思いをしないようにできればいいのですが、可能な限り配慮して進めていきたいと思っています。

小林委員長

ほかにいかがでしょうか。

—ほかに意見等がないことを確認—

では、協議事項の戸倉保育園の改築について、これでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

2. 今後のスケジュール

つづきまして、会議事項の2、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

事務局 寺澤係長

特に資料等はありませんが、今回皆さんからご意見をいただき、今日は特に方向性を決めていただかなくても大丈夫ですので、今回出た意見を精査し、次回もう一度、この年度内にお集まりいただき、そのなかで最終的に方向性を決めさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

小林委員長

今日の内容を事務局で精査し、次回の時に場所の方向性を決めさせていただくということで、よろしく願いいたします。

以上で、すべての会議事項が終わりました。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、滞りなく進行することができました。ご協力ありがとうございました。これで議長を退任させていただきます。

(4) その他

事務局 課長

議長をお務めいただきました小林委員長さんには非常にスムーズに会議を進めていただきまして、誠にありがとうございました。

会議次第の4. その他 でございますが、事務局からは特にございませんが、委員の皆様からは会議全体を通して何かございますでしょうか。

—特に意見等がないことを確認—

(5) 閉会

事務局

最後に、濱田副委員長さんから閉会のことばをお願いいたします。

濱田副委員長

皆様お疲れ様でございました。たくさんの意見が出されまして、審議ができたかと思っております。以上をもちまして本日の会議は閉会といたします。ご協力ありがとうございました。

14時15分